

授業コード	ナンバリング	開講時期	単位	
62100	C5L210	2024年度前期	1単位	
科目名	道徳教育の理論と方法			
担当教員	信田 和則			
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目			
学修内容	(1)学校における道徳教育の意義と役割がわかるようになる。 (2)道徳科の授業における指導計画、授業展開がわかるようになる。 (3)模擬授業を通して、道徳科における指導の在り方を体感する。 (4)授業内容の要約、それに対する自分の考えを提示できるようになる。 (5)発表やレポート課題を通して必要な情報を収集し、自分の考えを他人にわかるように伝える。他者の発表やレポートの良さを学び自分の考えに取り入れることができるようになる。			
学修成果・到達目標	理論だけでなく小学校現場での実践例をもとに道徳の指導法をワークショップ形式も取り入れながら学ぶ。子どもたちが「道徳科が楽しい。心があたたかくなる。」と言ってくれるような道徳科を創り出すために必要な道徳科の指導の在り方を考え、教授・学習スキルの基礎を身につけることができる。			
授業計画		事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間	
第1回	オリエンテーション 私の道徳、社会の中の道徳、小学校の思い出の中の道徳	私の中の道徳、社会の中の道徳、小学校の思い出の中の道徳などについて自分の考えを整理しておく。(2時間)	私の中の道徳、社会の中の道徳、小学校の思い出の中の道徳などについて講義の中で交流した意見をもとに自分の考えを再構築する。(2時間)	
第2回	学校における道徳教育の意義と役割 小学校学習指導要領を中心に	学校における道徳教育の意義と役割を把握するために 小学校学習指導要領を事前に読む。(2時間)	学校における道徳教育の意義と役割について、講義で学んだことをもとに再度学習指導要領で確認する。(2時間)	
第3回	道徳教材の分析 小学校で使われている資料をもとに	道徳教材の分析を行う教材を読み、ねらいや発問など予習を兼ねて考える。(2時間)	道徳教材の分析を行った教材を再度読み、ねらいや発問などを考え指導案の骨子を作る。(2時間)	
第4回	道徳の指導計画 指導案作成までのプロセスを通して	道徳教材の分析を行った教材について、ねらいや発問などを考え指導案の骨子を考える。(2時間)	講義で学んだ指導案作成までのプロセスを活かして、簡単な本時案としての指導案を作る。(2時間)	
第5回	指導案作成の演習 ワークショップ形式による指導案の作成	指導案（本時案）についての意見交流ができるように簡単な本時案を作る。(2時間)	ワークショップ形式により、作成した指導案をもとに板書案などを加えより詳細な指導案を作る。(2時間)	
第6回	模擬授業の演習 指導者の視点からと児童の視点から楽しい道徳科を創り出す	楽しい道徳科を創り出すために必要な教師の姿勢について考察する。(2時間)	楽しい道徳科を創り出すために必要な教師の姿勢について考察を深めるとともに具体的な指導方法の改善について考える。(2時間)	
第7回	道徳の指導法の改善と評価について 資料・指導法・展開の工夫と授業改善のための評価			
第8回	教育活動全体を通して行う道徳教育 ピア・サポート、キャリア教育、ESDなどの連携	教育活動全体を通して行う道徳教育について、学習指導要領や配布資料で該当する部分を読み、自分の考えをまとめる。(2時間)	教育活動全体を通して行う道徳教育について、講義での意見交流をもとに自分の考えを深める。(2時間)	
定期試験内容・方法について		筆記試験		
教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編	文部科学省	廣済堂あかつき	978-4-908255-35-9	
参考書				

書名	著者	出版社	ISBN	備考
「小学校学習指導要領」	文部科学省	東洋館出版社	9784491034607,	2018年
『生徒指導提要』	文部科学省	教育図書株式会社	9784877302740	2010年
『小学校学習指導要領解説 総則編』	文部科学省	東洋館出版社	9784491034614	
成績評価方法・基準				
評価方法	評価割合		評価基準	
最終試験にて、学習内容に関する知識・理解の定着度をみる	60%			
授業への取り組みを評価する	20%			
提出物・課題（適宜設定する）の成果をみる。	20%			
備 考	新聞やテレビ、インターネット等を通じて道徳教育に関わる話題を柔軟な発想で捉え、関心のあることを焦点化しておきましょう。 適宜、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション等の授業形態や内容を取り入れます。 毎回の授業の最後に学びを振り返り、レポートを作成します。以後の学びを深める手立てとして活用してください。			
フィードバック	授業時に適宜コメントする。 毎回の講義課題に対してフィードバックを行う。			
実務経験のある教員による授業科目	実務家教員である			
授業内容（実務家教員）	学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、今日的な課題（心の教育、いじめ問題、不登校等）への対応を指導する。			